

# ムラケン通信

2025.11月 発行 Vol-246

10月のムラケンのデキゴト。



九州視察(水野)。島津御殿からみた桜島。絶景に圧倒されました。



尚古集成館にて。黒田先生夫妻と参加した経営者と記念撮影。



外構工事の現場。  
地境の基礎コンクリート打設中。



内窓取付け工事。  
補助金を活用しています。



倉庫の瓦棒屋根。  
塗替え工事をしています。



荒島岳登山(宇野)。  
道中の小荒島岳にて。

## 「そば会」のご案内



ムラケンの大イベント「そば会」を今年も開催いたします。地元で採れた新そばの打ち立て、湯がきたてをご賞味ください。大きな鍋で作る豚汁も美味しいですよ！ご家族みなさんでお気軽にお越しくださいね。お待ちしております。

日時 12月7日(日)  
午前11時～午後2時  
場所 ムラケン事務所(うらの家)

※好評いただき、毎年大変混みあっております。お待ちしておりますことでもありますので、ご了承ください。



毎年、近藤さんに頼んでいる  
会社の庭木の剪定。



松原かおりさんの第2回個展へ。  
大きな作品が素敵でした。

プロの技・リフォーム設計力  
**ムラケン**  
Renovation Professional skill

# プロの技リフォーム設計力！～暮らし。変わる。リノベーション。～

9月もいろいろな工事をさせていただきました！



■一部から雨漏り発生。防水層も弱ってきていたので全面防水改修しました。



■冬の前に傷んだ箇所の瓦屋根を直しました。

## 【敷地整地工事】

整地のご依頼。草刈り後、不陸整生し防草シートを敷きました。その後、碎石を敷いて完成。臨時の駐車場としても使えるようになりました。



## 【和室改装工事】

畳からフローリング床へのご依頼。昔ながらの押入も使い勝手が良いように改修しました。また、断熱効果を高めるため、内窓の取付け工事もしました。階段下の収納庫も改修しました。



## 【九州視察】

黒田先生と企業理念を制定した全国の経営者と共に二泊三日の九州視察に行ってきました。前回の台湾視察以来2年ぶりの理念の旅です。人生初の九州でした。この機会がなければ特に本土最南端の鹿児島は一生訪れることがなかったかもしれせん。九州の気温は想像よりも暑かったですが、空気がきれいで、人も多く街に活気がありました。今回の視察でも多くの事を学ぶことができ、強い感動と刺激を受けた旅になりました。これからも日本の歴史について学び続け、先人たちの偉業を糧とし、今後の人生の成長に活かしたいと思えます。

## 知覧特攻平和会館と武家屋敷庭園群

一日目。知覧特攻平和会館へ行きました。展示されていたのは特攻隊として飛び立った若者たちの遺品や家族への手紙でした。二十歳にも満たない彼らが書き残した言葉の数々は、死を前にして何を思い、何を願っていたのかを如実に物語っていました。館内には特攻機の実機や操縦席も展示されていました。その狭い操縦席に座り飛び立っていった1,036人の若者の笑顔の遺影が強く印象に残りました。平和な現代を生きる私は、彼らの犠牲があつたからだという事を忘れてはいけなさと改めて感じました。

また「薩摩の小京都」とも呼ばれる知覧武家屋敷庭園群も訪問しました。市道を曲がるとそこは江戸時代の面影がそのまま残った町並み。通りの左右に積まれた石垣と手入れされた楨の高い生垣が続く景観は厳かな空気が流れています。各屋敷の入口は鍵型に曲げられていて、防御のための武家門の工夫が施してありました。武士の美意識を現代も変わらず大切に守り続けていました。

## 尚古集成館と仙巖園

二日目。現存する日本最古の洋式工場建築を利用した、島津家の歴史と28代藩主島津斉彬が推進した近代化政策を伝える資料館「尚古集成館」を訪れました。この建物は平屋建てで、外観は西洋風な石造りですが、屋根が木造で日本の伝統的な建築技術

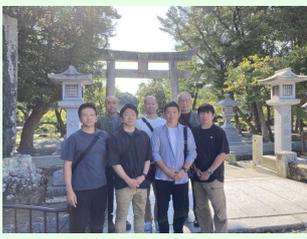


が取り入れられていて瓦葺きでした。斉彬はアヘン戦争で清が西洋列強に敗れたことを知り、西洋進出による日本の危機を予見しました。わずか数年で、軍事・産業・文化など多岐にわたる分野にて、西洋の技術を積極的に取り入れようとした彼の行動力と先見性には感服しました。幕末、試行錯誤の中で西洋技術を導入し、短期間のうちに飛躍的な発展を遂げた明治の産業革命はこの薩摩の地から始まったのです。斉彬からは困難な時代を切り開く指導者としての強い意志と日本人の底力を感じました。

また仙巖園も訪れました。藩主居宅だった御殿内から眺める庭園は別格でした。奥にそびえ立つ桜島の雄大な姿と錦江湾の穏やかな水面を借景とした庭園の壮大なスケールに圧倒されました。とてももなく開放感に満ち、自然の雄大さと人工の庭園美が完璧に融合した庭園でした。ここでも日本人の美意識の高さを感じられました。

## 宗像大社と沖ノ島関連遺産群

三日目。宗像大社を訪れました。大社は辺津宮・中津宮・沖津宮の三宮から構成され、それぞれに宗像三女神が祀られていました。境内にある資料館には沖ノ島から出土した8万点もの国宝が展示されていて、神器や奉納品からは太古の歴史を、ガラス破片や金の宝飾品などからはシルクロードの雄大な歴史を感じ取ることが出来ました。時間の関係上、宗像大社の修復再建に大きく貢献した出光佐三の施設館には行けませんでしたが、人を尊重し、生まれ故郷を愛し、社会に貢献しようとする強い思いは宗像大社を訪れて感じることが出来ました。ムラケンと同じ、社員を家族のように大切にする「大家族主義」を掲げた出光佐三の地はまたいつの日か改めて再訪したいと思つ九州の地を後にしました。



(水野勝志)

## 【SDGsプロジェクトの展開】 今あるものを次世代に継承する事業

### 荒島岳

大野市の東南に位置する、大野市民の誇りとする秀峰です。泰澄大師によつて開山されたと伝えられています。深田久弥氏が制定した「日本百名山」では、福井県で唯一選ばれた山です。標高1523m。登山をライフワークにしようと思つた時から、いつかは登りたいと思つていたが距離が長いので（およそ10\*）耐力を考えていつも躊躇していました。しかし今登らなければと思ひ立ち、今回の登山となりました。

ムラケンを5時40分出発。夕方には雨が降る予報だったので、いつもより早めの出発です。大野市から国道158号に入り、中出集落を経て、林道終点の中出コースの登山口へと着く。6時40分、朝早いからか、車は一台も停まつていない。荒島岳に登るのには四つのコースがあるのだが、距離は長いが比較的登りやすい中出コースを選んだ。県外の方は勝原コースから登る人が多いみたいだ。

杉の植林地の中を登り始める。谷間の道で展望はきかない。途中何度も林道を横切る、表示の小さな旗はあるが道に迷いそうになる。まだ誰にも会わない、何だか不安になつて、思わず『熊鈴』を音が鳴りやすい所へと移動した。30分程すると、林道は終わり、本格的な山道の入り口となる。さてここからが長い。この中出コースのコースタイムは190分だ。しかし、この頃コースタイム通りに進んだことはない。ここからはブナやコナラなどの落葉樹林帯となつた。

9時10分。荒島岳登頂手前の『小荒島岳』の分岐点に着く。曲がればすぐに頂上に着くが、時間は登り始めて150分経つている。ここは敢えて頂上へと急ぐことにした。天候はまだ悪くない。だが今までも経験したが、



千メートルを超える山は上の方になると、とても強い風が吹く、寒い。

道はいつたん下つて登り返し、しやくなげ平に着く。ここは勝原コースとの合流点だ。しばらく行くとやがてここ一番の急登となる、もちがかべと名付けられていて、階段やロープが付けられている。体力が取られないようにゆつくり登る。道はやがてクマササとなり、頂上に近づいているような様子を見せるのだが、なかなか着かない。あと少しだ。登頂。10時35分。スタートから235分。タイムより大幅オーバーだが、想定内だ。頂上は360度開けているのだが、霧に覆われて見えない。頂上にあつた方位盤によつて、

山々を感じた。ゆつくりと登頂を噛みしめた。おにぎりを二個だけ食べて、下山へと向かつた。小荒島岳。下山途中で、天気もまだ持つていたので、小荒島岳に寄つた。この頂上の方が、天気が良く、霧も晴れていて、白山までは見えなかつたが、ふもとの山々が姿を現して、一人満足した。しばらくゆつくりとしていたが、一人登つてきた人に私は慌てて立ち上がり、その反動で、風で帽子が飛んで行つてしまつた。飛んだ先は笹の藪で、探したが見つからなかつた。少し元気を落として下山とした。登り口の駐車場には15時10分に着いた。およそ8時間半の工程であつた。

(宇野義壽)

### 空き家と住まい手を縁結び

土地と家を手放したい方がいらっしゃいます。住吉町でお探しの方。スーパー、ドラッグストアが近く住みやすい環境です。金額は要相談。詳しくはムラケン宇野まで。



鯖江市住吉町3丁目  
土地：448.75㎡  
建物：木造2階建て  
186.52㎡  
カーポート

## 10月(9/21~10/20)完成のお客様

### ありがとうございました!!

- 越前市赤松様 和室改修工事
- 鯖江市堀様 ウォシュレット修理工事
- 鯖江市芳野様 吊り棚撤去工事
- 鯖江市ガラスアート様 照明LED化工事
- 鯖江市栗本様 シャッターリモコン取替え工事
- 鯖江市牧野様 巾木取替え工事
- 鯖江市八田様 火災警報器取替え工事
- 鯖江市藤田様 屋上防水工事
- 鯖江市橋本様 雨漏り修繕工事
- 越前市白崎様 敷地整地工事
- 鯖江市田中様 内窓取付け工事

- 鯖江市大柳製本所様 剪定工事
- 鯖江市八田様 脱衣室改修工事
- 越前市高橋様 屋根瓦修繕工事
- 鯖江市板倉様 ベランダ柱補強工事
- 鯖江市丹尾様 屋上防水工事
- 鯖江市岡田様 外壁塗装工事
- 鯖江市芳野様 コンセント新設工事他
- 鯖江市宇野様 襖紙張替え工事
- 鯖江市立野様 トイレ改修工事
- 鯖江市西川様 浴槽排水栓修理工事

★お住まいのお困りごとはムラケンまで★  
(修繕・修理、何でもご相談下さい)



■リビングと寝室の窓に内窓を取付けました。



■防水層が劣化したのでウレタン塗膜防水を施しました。



■洋便器を取替え、内装も一新しました。



■サイディングの外壁を塗替えさせていただきました。

気持ち良い秋が短く、すっかり寒くなってきました。みなさんいかがお過ごしでしょうか。

写真①は鯖江市内で新規のお客様から剪定のご依頼です。写真②は越前市のお客様で剪定作業。前日は半袖で作業しましたがこの日はヤッケを着て作業しました。気温の差が激しい日が続きました。写真③はあわら市で4年間除草散布管理をさせていただきました。写真④は鯖江市で剪定をさせていただきました。

現在も引き続き混みあっており、順番に対応しております。ご了承ください。(村上直也)

『草むしり.com 福井』TEL 0778-23-6507



### 編集後記

先日、次男の高校サッカー選手権の3回戦が三国のテクノポート芝生広場でありました。10月は学校の行事も多く、定期テスト最終日に2回戦(午前テストを受けてから午後試合)。翌々日から修学旅行。帰ってすぐに3回戦と、まともに練習ができなかった状況での試合となりました。結果は3回戦で惨敗。強豪校はやっぱり強いですね。次は11月に新人戦があります。次はどこまで戦えるか楽しみです。

修学旅行では東京方面に。高校生になると班別行動も多く、自分達で計画し行動していたようです。楽しい時間を過ごせたようです。(南部由希子)



選手権の結果は、ベスト8。

ムラケンに入ってから日々水野社長の下、現場管理のノウハウを学んでいる寺嶋君。最近ではお客様からお褒めの言葉をいただいたり、直接お客様から寺嶋君に連絡が入るようになってきています。とにかく何事にも真面目な寺嶋君なので、そういった姿勢もお客様にきちんと評価されているのだと思います。

現場の方では彼自身に任せられることも増えてきて、水野社長の右腕?として日々がんばっています。現場の管理能力も日々アップしています。現場管理も大工工事もできるスーパースタッフとしてさらに成長してほしいと思います。

また「いえまち」の方も快く手伝ってくれて、いつも助かっています。(今回は南部から見た寺嶋君の近況報告でした。)



■カメラを向けるといつもニコニコ笑顔の寺嶋くん。

## 古道具屋 いえまち

### 【いえま치의活動と想い】

先日お客様から、いえまちって何してるの?と聞かれ、改めて活動と想いをお伝えしますね。

現在、世の中には何万トンものゴミが捨てられています。その中には古くて味わいのあるモノがあったりします。古き良きモノを伝え残していきたい。そういったモノを引き継ぎ誰かに使ってもらえたら。そのような想いから「いえまち」の活動がはじまりました。

私たちはお客様が不用になったモノを引取ります(レスキューと呼んでいます)。キレイにして次の使い手につなげます(いえまちで販売しています)。住まいや蔵の片付け整理、不用品の処分。想いでの品や捨てるにはもったいないモノ、お気持ちも一緒にレスキューします。ご相談下さい。

### 【どんなモノを引き取ってくれるの?】

昔使われていた食器類、古い家具や道具(丸椅子、ちゃぶ台、茶箆筥、火鉢、花器など)。昭和レトロなもの。古民家や蔵などの木製建具、板材、ガラス。

0778-52-6389 ムラケン南部までご相談ください。

※すべてのモノが引取れるわけではないのでご了承ください。  
※お客様の処分する量が減ればとの想いです。買取りはしておりません。

### ~営業予定日~

11月2, 3, 4, 5日 / 20, 21, 22, 23日

※急な休みなどはインスタにてお知らせいたします。: @iemachi6389

※12月はそば会イベントのため、お店はお休みとさせていただきます。

編集・発行

プロの技・リフォーム設計力

**ムラケン**  
Renovation Professional skill

地域密着宣言 大家族主義

株式会社ムラケン 〒916-0056鯖江市住吉町3丁目4-5 TEL0778-52-6389

ホームページ <http://www.muraken.me> (ムラケンで検索)

